

3階西病棟ってどんなところ

西村広江¹⁾

要旨：新棟へ移転し2年経った。病室もベッドもマットも、スタッフステーションも空調も照明も全て新しくなり、窓の外の景色も変わった。病室は6床室から4床室となり、酸素、吸引、ロッカー、洗面台が完備され、今ではこれが当たり前の日常となった。予定入院、急患、緊急手術、検査に対応し、抗がん剤治療を担い、医療用麻薬の管理、終末期のケア、病院連携での入院を受け入れ、急性期、回復期、慢性期、退院支援と幅広い看護を行っている。特に、急性期看護は、医療依存度が高く、医療事故を起こさないよう、精神的にも体力的にも緊張感を持ち業務にあたっている。夜勤でも部屋を替えてでも頑張っている。毎年、他施設からの入職者、新人看護師の入職と新しい風がある。これまでの歴史を大切にしつつ、ニーズに添えるよう変容出来る職場でありたいと思う。

キーワード：安全確保；緊急入院；転入・新人看護師

(雲南市立病院医学雑誌 2020；17(1)：印刷中)

はじめに

新棟へ移転し2年が経ちます。病室もベッドもマットも、スタッフステーションも空調も照明も全て新しくなり、窓の外の景色も変わりました。病室は6床室から4床室となり、酸素、吸引、ロッカー、洗面台が完備され、日常業務がとてもスムーズに出来るように

なりました。

今ではこれが当たり前の日常となっています。

病棟紹介

職員

看護師 29人 (男性看護師3人) (図1)

特定看護師1人 研修中 1人

認定分野の研修を修了した看護師1人

看護助手 5人

クラーク 1人

病棟薬剤師 2人

病棟管理栄養士 2人

病床数

3床室 1部屋

4床室 9部屋

51床 個室12部屋 (感染症病床2)

平均在院日数

17日

病床稼働率

常時約95%

看護方式

固定制チームナーシング+機能別



図1：病棟看護師

1) 雲南市立病院看護部看護科

著者連絡先：西村広江 雲南市立病院看護部看護科 [〒699-1221 雲南市大東町飯田 96-1]

E-Mail：kangobu@hotaru.yoitoko.jp

電話：0854-47-7500/ FAX：0854-47-7501

(受付日：2020年3月31日、受理日：2020年3月31日)

勤務形態

3人夜勤の3交替制

病棟の特殊性

ナースコール、モニター等機器の音が常に鳴り響いています。予定入院、急患、緊急手術、検査に対応し、抗がん剤治療を担い、医療用麻薬の管理、終末期のケア、病院連携での入院を受け入れ、急性期、回復期、慢性期、退院支援と幅広い看護を行っています。

特に急性期看護は、医療依存度が高く、医療事故を起こさないよう精神的にも、体力的にも緊張感を持ち業務にあたっています。

3西スタッフに5K

～感謝、感激、感動、かっこいい、可能性～

朝礼で予定入院の方の情報、病室を発表します。担当者は業務調整を行います。

その後、予定以外の入院の依頼がよくあります。管理は部屋の調整を行い、スタッフはさらなる業務の調整を行います。病棟の使命、役割、責任感のもと入院の受け入れを行っています。

「皆、本当に頑張っている！」と日々皆のポジティブさを感じます(図2)。

看護部長のラウンド、救外次長の入院調整

8時30分前の部長のラウンド。ここぞという時のベッドコントロール。休み明けは、最大限のコントロールをしていただくことで業務がスムーズに進みます。

救急外来・各診療科より入院の依頼があると病室の調整で困ることがあります。次長の調整により安堵することが多々あります。業務がスムーズに進み連携の大切さを感じます。

部署内で頑張っている事

日頃行っている事、心がけている事

ポジティブに他部署に伝えたい事

接遇:

- ・忙しくても、挨拶だけでも気持ちよくするように心がけている。
- ・ナースコールの対応が前に比べて早くなったと思う。
- ・入院が多く忙しい中でも個々の患者様への丁寧な関わりに努めている。
- ・重症、認知、せん妄患者さんへの対応でいつも忙しいですが、丁寧に関わろうと皆頑張っている。

安全:

- ・チーム関係なくスタッフで協力している。
- ・情報を共有しながら事故防止に努めている。
- ・安全を一番に考えてケアを行っている。
- ・お互い助け合いながら協力して、声を掛け合って業務をこなしている。

入院:

- ・夜勤でも部屋を替えてでも頑張っている。

急変:

- ・全員で対応。大変な時は皆で助け合いをしている。

緩和ケア:

- ・多職種で協力して緩和、看取りを行っている。

日常生活:

- ・離床への援助をすることでADLの回復に努め寝たきりにならないようにしている。
- ・介助が必要な患者さんへの清潔ケア、食事介助を頑張っている。

認知症の方への関わり:

- ・視線を合わせ、声を掛け威圧的にならないようにしている。
- ・毎日抑制評価をすることで、抑制期間が短縮できるように努めている。

プライマリーとして:

- ・丁寧にかかわる努力をしているが、記録に残すことで、関りが見えてくる。家族とのやりとり、患者本人の言動を残す努力をしている。



図2: 病棟での勤務、予定外業務も多い

まとめ

是非、皆の思いを他部署の方に伝え、お互いを知り、わかり合い支えながら仕事ができたらと思います。

業務多忙ではありますが、心に触れ、寄り添い、良いケアを提供できるよう日々頑張っています。

看護が好き、3階西病棟が好きという素直な気持ちでいるからだと思います。

限られた人員の中で業務を行うには、風通しの良い職場であることが大切です。

毎年、他施設からの入職者、新人看護師の入職と新しい風があります。これまでの歴史を大切にしつつ、ニーズに添えるよう変容出来る職場でありたいと思います。



What is the west third-floor ward?

Hiroe Nishimura¹⁾

Abstract: It is two years since this ward was moved to the new building. Everything was renovated, for example, the patients' rooms, beds, mats, staff station, air conditioner, lighting and window view. Each patients' room has four beds compared with six beds in the patients' rooms in the old building. Oxygen ports, suction machines, lockers, and washstands have been installed in every room, and this is the new normal. Every day, we deal with elective and emergency admissions, emergency operations, emergency laboratory investigations, chemotherapy for malignant diseases, management of medical narcotics, terminal care, admission and management of patients from higher-level hospitals, and nursing care for acute, chronic, recovering, and predischarge patients. Particularly, acute nursing care is provided for patients who are highly dependent on medical support, so we always take care of patients and perform our duties being emotionally and physically nervous. Even at night, we admit new patients, even if it means moving the already hospitalized ones to other rooms. We hire some mid-career professionals from other hospitals and new graduates every year; these reinvigorate the team. We aim to create a good working environment that encourages behavioural change depending on several needs while respecting our history and pioneers.

Keywords: ensuring safety; emergency admissions; mid-career recruitment; new graduate adoption

1) Nursing department, Unnan City Hospital

Correspondence:

Hiroe Nishimura, Nursing department, Unnan City Hospital [96-1 Daito-cho Iida, Unnan, Shimane 699-1221, JAPAN]

E-Mail: kangobu@hotaru.yoitoko.jp

Telephone: 0854-47-7500 / Fax: 0854-47-7501